



## 令和4年度 第2回学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には、12月に実施しました「学校評価アンケート」にお忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことについてアンケートをとり、保護者・児童（低学年、高学年）・教職員の自校評価を第1回のアンケート結果と比較し、継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

## アンケートの方法

アンケートの項目を、【確かな学力】【豊かな心・健やかな体】【学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

## アンケート結果より

※重要度については、「重要である」「やや重要である」を合わせて表記しています。

※実現度については、「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて表記しています。

※（ ）内は、保護者・教職員用アンケートの文言です。

※全項目は掲載できませんので、ご了承ください。

## 【確かな学力】

授業中、学習がよくわかること (子どもにとって授業がよくわかること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	85.6%	83.8%
	低学年児童	86.7%	95.1%
	高学年児童	85.8%	86.1%
	教職員	86.6%	80.0%

最後まであきらめず、学習に取り組むこと (子どもが何事にも粘り強く取り組めること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	59.7%	64.3%
	低学年児童	89.1%	92.2%
	高学年児童	83.9%	83.9%
	教職員	56.7%	76.0%

授業中、しっかり相手に話をする事 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	77.1%	84.9%
	高学年児童	60.0%	76.3%

授業中、しっかり話をきくこと 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	87.9%	94.0%
	高学年児童	86.5%	89.0%

学習の中で、PCやタブレットを使うこと 【重要度】		第1回	第2回
	保護者		90.3%
	教職員		96.0%

学習の中で、PCやタブレットを使うこと 【実現度】		第1回	第2回
	保護者		78.3%
	低学年児童		90.4%
	高学年児童		95.4%
	教職員		80.0%

〔自由記述欄より〕

<児童>

- ・勉強が苦手だけど、がんばりたい。
- ・学校生活がとても楽しいです。
- ・勉強ができるようになりたい。
- ・学校の先生は優しいし教え方がうまいと思っている。
- ・もっとみんなみたいにがんばって頭が良くなりたいです。
- ・勉強が楽しく感じる。

<保護者>

- ・先生との信頼関係ができて、のびのび通っている。
- ・コロナが落ち着いてきたので、校外へ出かけての学習などもまたしてほしい。
- ・変化の多い状況の中子どもたちの事にご尽力いただき、ありがとうございます。
- ・なかなか、親では勉強を教えることが難しくなったので、先生方に、勉強に取り組むモチベーションを上げてもらい、わかっていないところを教えてもらえたらと思います。

〔学校より〕

育成したい資質・能力として「伝える力+汲み取る力=つながる力」を大切にして取組を進めて3年になります。過去2年間のアンケートの結果では、「よく出来ている」「大体出来ている」と答える児童の割合が、7月1回目より12月2回目のほうが減少する傾向にありました。しかし、今回は、『相手に話をする』『相手の話を聞くこと』の双方において、低学年・高学年児童いずれも割合が増加する結果となりました。このことに関しては、相手とつながることを大切にする子どもたちが増えているという子どもたちの声として受け取ることができ、とてもうれしいことです。今後さらに取組を充実させていきたいと考えます。また、たくさんの児童が「伝える」ことの楽しさや大切さに気付けるような取組を進めていきたいと思っています。

『最後まであきらめず、学習に取り組むこと（子どもが何事にも粘り強く取り組めること）』について、低学年・高学年児童、保護者・教職員全て実現度の割合が1回目より増加しました。

本校の目指す子ども像として「目標をしっかりもち、粘り強くやりとげようとする子」を挙げています。今後も、子どもたちが自分の目標に向かい日々の学習や学校での活動に取り組めるようサポートしていきます。

GIGAスクール構想の本格実施から2年、タブレットを使っの学習を充実させるべく取組を進めています。

今回、アンケートの中に「学習の中で、PCやタブレットを使うこと」の項目を新たに設けました。

9割以上の保護者・教職員が、タブレットを使っの学習を重要と考えており、低学年・高学年児童ともに、タブレットを使っの学習に意欲的に取り組んでいる結果が見受けられます。

日々の学習において、ロイロノートや Microsoft 365 などさまざまなソフトを活用して学習する場面が定着してきており、子どもたちの学習の大切なツールの一つになっています。これからも、自分の思いや考えを表現したり、友達と交流したりするときのツールとして、子どもたちがより充実した活用ができるよう取り組んでいきます。

## 【豊かな心・健やかな体】

「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」が言えること （子どもが「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」と進んで言えること） 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	81.3%	77.0%
	低学年児童	84.9%	84.4%
	高学年児童	86.4%	68.1%
	教職員	64.3%	60.0%
早寝・早起きなど、決められた生活をする （子どもが早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を 身に付けていること） 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	79.8%	81.0%
	低学年児童	77.7%	77.1%
	高学年児童	70.3%	64.7%
	教職員	76.6%	76.0%
友達と仲良くすること （子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや 親切な心を育むこと） 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	92.8%	93.5%
	低学年児童	93.4%	95.1%
	高学年児童	94.9%	95.3%
	教職員	80.0%	84.0%

〔自由記述欄より〕

<児童>

- ・自分が約束を守っていきたい。
- ・学校に早くいく。
- ・みんなとけんかしないように心がけている。
- ・この学校がよくなりますように。
- ・まだまだ友達が少ないから増やしたい。
- ・お友達と毎日たくさん仲良く遊べて楽しい。
- ・毎日友達に会えてうれしし、毎日友達と遊べて楽しい。
- ・楽しい学校にしたい。みんなが誰とでも仲良くなってほしい。
- ・クラスのみんな注意してくれたり遊びに誘ってくれたりとても優しいです。
- ・みんな上手く出来たらほめてくれ、みんな頑張っています。
- ・クラスの一人一人がみんなに優しい。
- ・違う学年の人と仲良くしている。
- ・給食が美味しい。

<保護者>

- ・北校舎のトイレを新しくしてほしい。
- ・子どもが、トイレ掃除がしにくいため汚れが取り切れず気になるようです。
- ・コロナ禍で大変ですが、これからもがんばってください。
- ・いつも先生は親身に聞いてくださり出来るようになったことは褒めてくださり感謝しています。
- ・学校生活が楽しくて、友達が嫌な気持ちになることはしない子どもになってほしいです。

〔学校より〕

『あいさつ』について、低学年・高学年児童とも実現していると答えた割合が減少しています。また、保護者・教職員の割合も減少しています。あいさつの大切さは認識していても、なかなかあいさつすることができない子もいるようです。毎月1日と15日のあいさつ運動などを通して、元気なあいさつが行き交う学校にしていき、あいさつの大切さが伝わるようにしていきたいと思います。

『友達と仲良くすること』については、低学年・高学年児童、保護者・教職員全てで実現していると答えた割合が増加しました。児童の自由記述欄を見ても、子どもたちは、新しい友達をつくったり、友達との関係を深めたりすることができているようです。そして、さらに良い関係を作っていきたいと考えている子もいます。今後も、子どもたちの心に寄り添い、子どもたちが元気に安心して学校に来ることができるようにしていきます。

## 【学校・家庭・地域との連携】

学校であったことを家で話すこと （学校が、教育方針や教育活動の状況を 分かりやすく伝えること） 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	86.5%	84.9%
	低学年児童	83.3%	83.7%
	高学年児童	82.6%	78.6%
	教職員	86.6%	92.0%
PTA 行事や地域の行事に進んで参加すること （「地域総ぐるみ」の教育を推進すること） 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	78.8%	73.0%
	低学年児童	54.0%	56.6%
	高学年児童	43.2%	35.8%
	教職員	78.8%	76.0%
「地域総ぐるみ」の教育を推進すること 【重要度】		第1回	第2回
	保護者	89.4%	84.9%
	教職員	100%	96.0%

〔自由記述欄より〕

＜保護者＞

- ・先生方は子供のことを良く見てくださっているので大変だと思います。親としては感謝しかありません。
- ・学習の予定や必要なものがもう少し早く分かればうれしいです。働いている親はなかなか買いに行けない場合や、仕事が休めない場合もあるので。
- ・PTA 活動は大切ですが、役員の仕事内容は見直しが必要だと思います。必要性を感じないものもあるように感じます。
- ・PTA 活動の見直しをしてほしい。工夫をしてほしい。

〔学校より〕

『学校であったことを家で話すこと』については、低学年児童の「よく出来ている」「大体出来ている」の割合はほぼ横ばい、高学年児童で若干減少しています。学校としては、今後も引き続き、ホームページや学校だよりで、学校の教育方針、育成を目指す子どもの姿や子どもたちの日々の活動の様子を発信していきます。各ご家庭で、お子たちとのコミュニケーションを心がけていただいていることと思いますが、これらをその一助としていただけるとありがたいです。

今年度もコロナ禍にはありますが、子どもたちにとってさまざまな経験の場や活躍の場が必要だと、PTA や地域の方々がさまざまな取組を進めてくださいました。今年度は、夏には「夕涼み会」、11月には「ふれあい活動」が行われ、多くの子どもたちが楽しいひとときを過ごしていました。今後も、目的や目標をはっきりとをもって、学校とPTAと地域が連携し、子どもたちを育てていきたいと思っています。

【学校運営協議会でのご意見】 2月16日「第2回学校運営協議会」

- さまざまな項目の結果から、保護者からの信頼がみえる。教職員ががんばって取り組んでくれている証拠。
- コロナ禍、学級閉鎖などにおいて、タブレットの使用やオンラインでの学習保障がされており安心した。
- さまざまなタブレットの使い方ができてきているようで驚いた。今後もうまく活用してほしい。
- あいさつについては、できる子がいる一方、できない子が増えてきた印象もある。よい雰囲気づくり、コミュニケーションの輪を大切にしたい。
- 地域の活動は、コロナ禍で以前よりできておらず申し訳ない。
- 車の量が多い道で、スピードを出して通る車が多く心配。
- 集団登校時、子どもたちが安全に対する意識をしっかりとつことが大切。
- 家でゆっくり過ごす時間が少ないのではないと思うが、学校のことを話す割合が高く、安心した。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今後とも梅津北小学校の子どもたちのよりよい成長に向け、【学校】【家庭】【地域】で連携していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。